

夏の怪談「為替介入オバケ」

2022年晩夏・初秋の為替介入



先ほど断固たる措置をした（9月22日夕方）

相場が大きく乱高下。必要な時は必ずやる事になる（9月22日正午）

(1ドル=円)



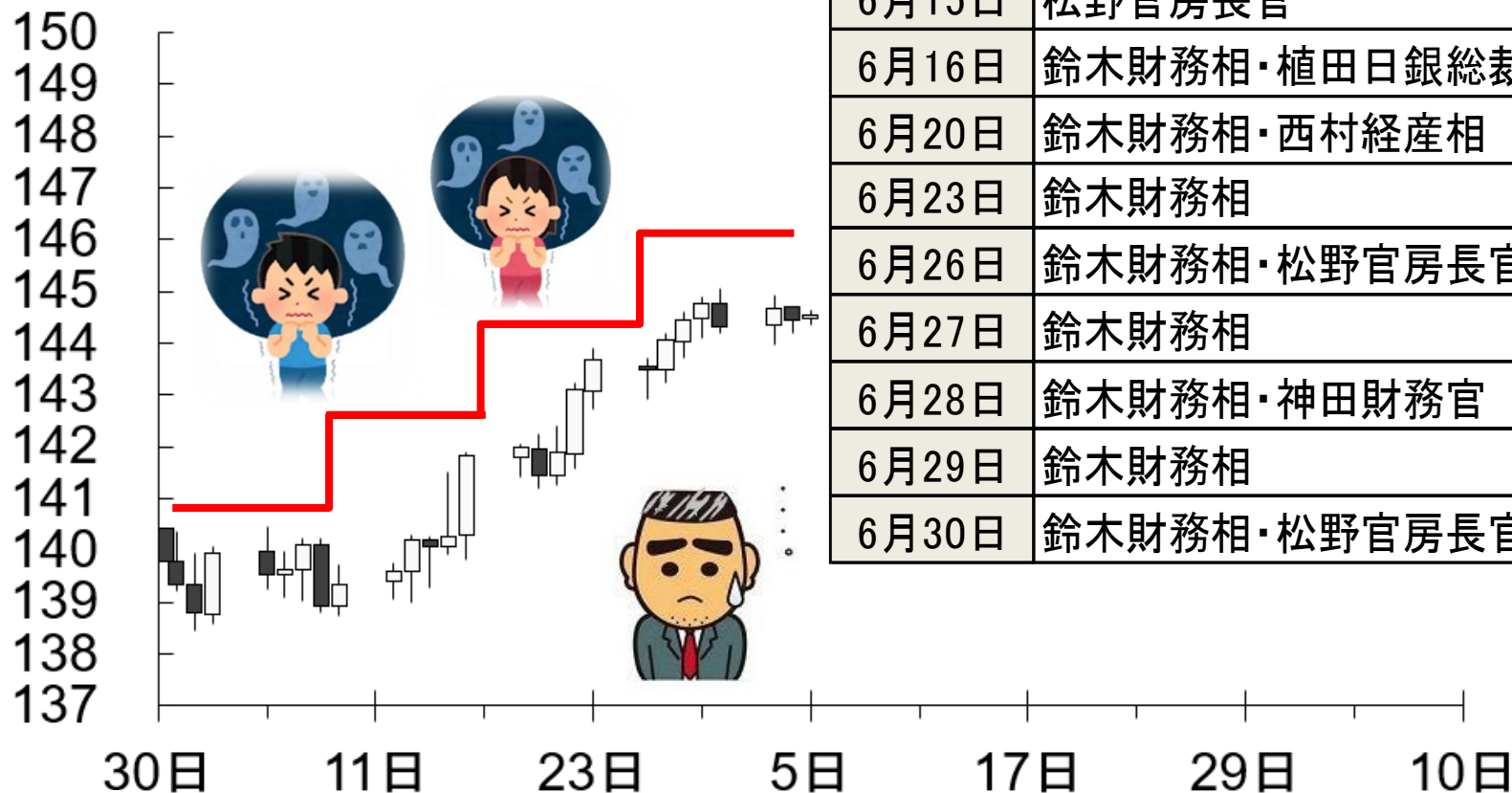
緊張感を持って監視し、あらゆるオプションを排除せずに適切に対応（9月14日）

（日銀財務省金融庁の三者会合後に）このような動き継続すればあらゆる措置を取る準備（9月8日）

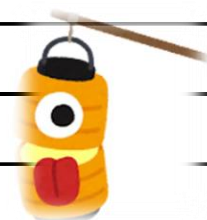
夏の怪談「為替介入オバケ」

2023年夏の円安肝試しムード、低い

(1ドル=円)



日	閣内閣
6月15日	松野官房長官
6月16日	鈴木財務相・植田日銀総裁
6月20日	鈴木財務相・西村経産相
6月23日	鈴木財務相
6月26日	鈴木財務相・松野官房長官・神田財務官
6月27日	鈴木財務相
6月28日	鈴木財務相・神田財務官
6月29日	鈴木財務相
6月30日	鈴木財務相・松野官房長官

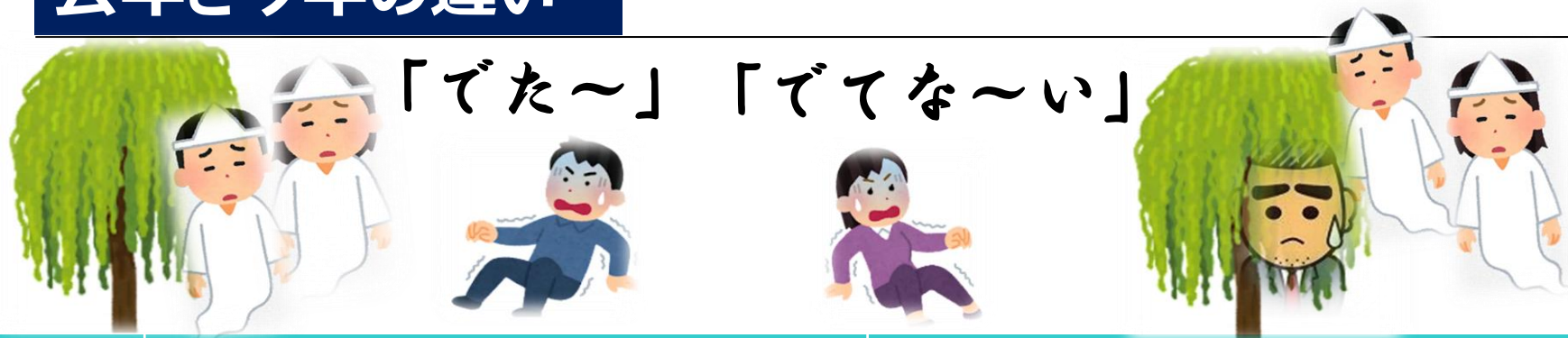


過度な動きがあれば適切に対応（6月28日）

どんな場合でもあらゆるオプションが可能（6月26日）

夏の怪談「為替介入オバケ」

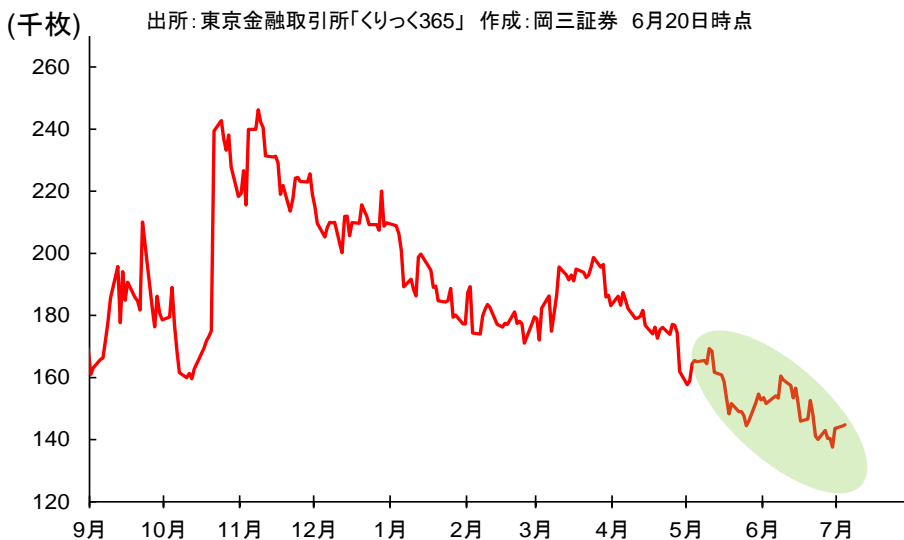
去年と今年の違い



材料	2022年夏	2023年夏
政治	安倍元首相銃撃事件 (7/8) 参院選 (7/10)	広島サミット後、岸田首相支持率低下
株価	27000円から28000円	31000円から34000円
為替	8-10月で130-151円 32年ぶり「悪い円安」、流行語候補	4-6月で130-145円 米為替報告書で日本を監視対象外
FRB	物価抑制優先の連続利上げ	FRBの利上げサイクル終盤
日銀	異次元緩和政策継続	異次元緩和政策継続
米債	米国10年債金利は2.8~3.2%	米国10年債金利は3.7~4.0%

夏の怪談「為替介入オバケ」

2023年夏のFXドル円投資家は・・・



●FX投資家のドル買い円売りの建玉は低下推移
≡介入が何時あっても傷まず



・米雇用統計

米雇用統計7月7日金曜日21:30発表

6月失業率予想:3.6% (前回3.7%)

6月非農業部門雇用者数予想: +22.4万人 (前回33.9万人)

6月平均時給 (前月比) 予想: 0.2% (前回0.3%)

(前年比) 予想: 4.2% (前回4.3%)



ポイント

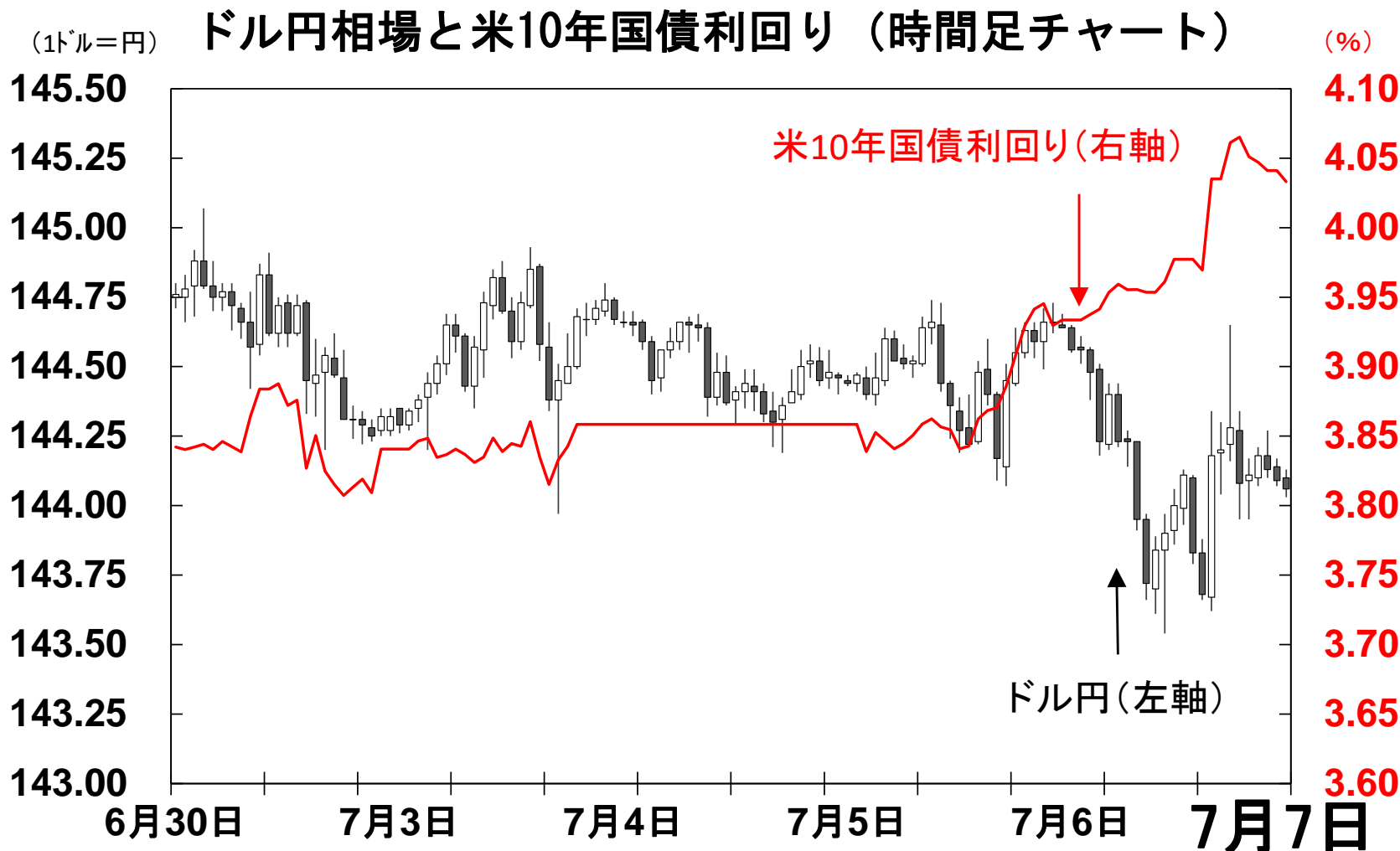
平均時給など賃金の伸びが落ち着きを示せば、労働需給の弛緩としてインフレ圧力低下につながる、との見方に

⇒7月12日の米国の6月消費者物価指数 (CPI) の先行指標

⇒最終判断は7月25 - 26日のFOMCとその後の見通しに . .

日本株↓ 米10年債金利↑

短期ドル円は戻り売り（ドル売り円買い）作戦か



出所: Refinitiv 作成: 岡三証券 7月7日午前6時時点(日本時間)